

ぼたんだより

2025

Vol. 9

こんにちは、まちかど図書館ぼたんです!いよいよ夏本番!

夏祭りや花火大会、あるいは旅行など、皆様この夏を満喫しておられますか?暑い日には、 図書館の涼しい空間で、新しい本との出会いを楽しむのはいかがでしょうか。

今月のニュースレターでは、7月の座談会の様子を中心に、図書館の活動をお届けします!

Topic O1 第8回イベント、開催しました!

2025年7月19日に、第8回目のイベントを行いました。今回のスピーカーは、本棚オーナー様の山下勝也さんで、「地域の防災・・・今できること」をテーマにお話をしてくださいました。今回は、本棚オーナー攪上さんや山口さん、坂田さん、「まちかど図書館ぼたん」に絵本や防災関係文献、たくさんの衛生関係グッズを寄贈頂いた市村さん、まちづくり長野の宮島さん、築山ゼミからは築山教授、千野、小原、古幡の計9名が参加しました。

【お天気キャスターの肩書 気象予報士と防災士】

テレビでお天気の報道をされている方々は、どのような資格を持ってられるでしょうか。 SBC「ずくだせテレビ」や「ニュースワイド」に出演されている坂下さんやabn「ソラをライブ」の山本さん、テレビ信州「ゆうがたGet」の木下さん。彼らはアナウンサーさんです。一方、NHK「イブニング信州」の越後さんや以前担当されていた佐藤可奈子さんは気象予報士と防災士の2つ資格を持っておられ、佐藤さんは、現在東京本局のNHKジャーナルで気象コーナーを担当されています。気象予報士と防災士の資格を持っている方は、肩書として、気象予報士、防災士と記載されています。

【明日の降水確率20%! その意味は?】

皆さんは、天気予報に出てくる「降水確率」の意味を理解していますか?20%と80%で大雨が降るのはどちらでしょうか?実は、降水確率は雨が降るか降らないかの%であり、雨量に関係はありません。降水確率とは、過去の気象データから明日と類似するデータを抽出し、そのうちどのくらいで雨が降るかを計算しています。例えば、抽出した100件のうち、20件で雨が降っていたら降水確率は20%と計算され、報道されます。

【これからの天気予報は当たるのか】

確率の計算なので、1万回中の2千回が雨でも、5回中の1回が雨でも、降水確率は同じ20%です。しかし、母数が1万回あるのに対して、母数が5回と聞くと頼りなくなってしまいます。さらに、近年よく耳にする「観測史上初めて」という言葉から、人の力で未来を予測するのは難しいと実感させられるとおっしゃっていました。

例えば、洪水ハザードマップでは、2015年 に水防法が改正され、1000年に1度クラスの最大規模を示すことが求められ、各地のマップ では、それを想定したマップが公表されるようになっていますね。



【地震は予知できるのか】

地震の予知は出来るのでしょうか?昨今インバウンド客が激増しているなか、香港からのインバウンド客は激減しています。その原因は香港で人気な漫画本の作中で「7月に日本で大災害が起きる夢を見た」という記述があったからです。作者は「本漫画をきっかけに災害対策を心掛けてほしい」と述べています。信濃毎日新聞に掲載されていた気象庁長官の見解によると「現在の技術力では災害の予知が出来ない」ということです。

【同じ災害は2度と起きない?】

- 一口に地震といっても、それによって引き起こされる状況は千差万別です。
- ・関東大震災:M7.9 火災が起き、「地震が起きたら火を消す」が標語になる
- ・阪神・淡路大震災:M7.3 建物の崩壊やクラッシュ症候群が多発
- ・東日本大震災:M9.0 津波が被害地を襲い、災害関連死による死者数が続出した
- ・熊本地震:M6.5とM7.3 2日連続での地震で防災拠点の被災する
- ・能登半島地震:社会インフラが崩壊し、道路や港湾、空港が被災

同じ地震でも、その時に引き起こされる被害は多様性に富んでおり、さらに被災した個人 個人を見ると代表的な被害状況に当てはまらない事も多いとおっしゃっていました。

【防災訓練は役に立つのか】

『形式的な想定⇔具体的な想定』

その時々によって状況の変わる災害に備える方法として、防災訓練が思い浮かびます。皆さんも小中学校時代に実施した経験があるのではないでしょうか。なかには、「形式的なもので役に立つのか」と疑問を感じた方もいるかもしれません。しかし、現在行われている訓練はかなり具体的でシビアな想定になっているものを見られます。効果はあるのでしょうか?

山下さんご自身も防災の勉強をするまでは「形式的な想定の訓練を重ねたところで役に立たない」と考えていらしたそうです。しかし、ピカソや草間彌生さんの絵のように、はっきりと「何」かは分からないが、何となくそんな感じに見える。そのあいまいさが大切なのではないか、と最近考えを改めたとおっしゃっていました。同じ災害が起きない以上、その対策は臨機応変で「こんな感じのことをやるのだな」と大まかに理解するのが良いのではないかということでした。

【公助・共助・自助 それぞれの反対の言葉は何だろうか?】

自助とは自分で備えることを意味します。共助とはどのような意味なのでしょうか。「近所の人に助けてもらうことだから、自分がやることはない」と思っていないでしょうか。隣近所の人同士で助け合うにはコミュニティが必要です。震災で死者を出さなかった「白馬の奇跡」はコミュニティの繋がりが強かったからこその結果であり、それに対して「松本の悲劇」はコミュニティの繋がりが弱かったことが要因といわれています。コミュニティは自分から動いて日ごろから努力していなければ、繋がりが強くなりません。では公助はどうでしょうか。「行政に助けてもらうことだから、自分がやることはない」と思っていませんか。国や県から派遣されてきた人たちは地区の事情を知っているわけではありません。円滑に救助してもらうには地区防災計画を作成することが重要です。これらも自分たちで動いて作成することが必要です。今できる防災対策は「自分から動いて努力する」ことに意識を変えることだとおっしゃっていました。ちなみに、天佑神助とは、天や神の助けのことであり、人の力の及ばないものからの加護を意味し、似ている言葉を重ねて強調したものです。

【寺田寅彦の言葉"災害は忘れた頃にやってくる"というのは本当だろうか?】

常に災害を意識して行動していれば忘れるということはありません。山下さんは「忘れたがために災害となる」と考えるとおっしゃっていました。

【講演後の議論】

山下さんのお話の中に、トリアージという言葉が出てきたことで、築山先生から、それに関連した話があった。トリアージとは、フランス語の「選別」を意味するトリアージュが語源。戦場において、誰を野戦病院に送るかの判断をする場合、限られた医療資源を有効に使うために、回復不可能と思われる重傷者ではなく、軽傷者を優先的に選別するということ。コロナで医療崩壊が起きていた時期にも、人工呼吸器を誰につけるかの選別が議論された(医療経済、医療資源の分配問題)。個人の尊厳ある死とは言われるが、トリアージの延長上に、安楽死は捉えられる。その安楽死を巡る法律が、フランス(5月27日)、イギリス(6月20日)の下院で相次いで可決された。上院で可決されれば施行される。この10年で安楽死を容認する国は増えた。医師による致死薬の投与を容認する国は、カナダ、キューバ、コロンビア、エクアドル、スペイン、ポルトガル、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、オーストラリア、ニュージーランド。スイスやオーストリア、アメリカの一部州は、医師による致死薬の処方を容認している。スイスでは自殺ほう助が認められており、海外から自殺をするためにスイスを訪れる"自殺ツーリズム"という言葉まである。

安楽死法は、当初は細かな条件が設定されているが、時間が経つとその条件が崩れていく傾向にある。耐えられない苦痛という条件も、精神的苦痛などに拡大されていく。死期が近い(例えば、イギリスの安楽死法では余命6カ月未満)という条件も、医学が進歩すれば新薬が開発されるかもしれないので曖昧だ。死を自己決定できるか、また、安楽死法の成立を多数決で決定することができるのか。ALS患者は、身体の自由はなくなるが、頭脳は明晰であり、議員やホーキング博士のように、研究者など活躍する人もいる。ある人が自分の死を自由に決定することで、同様の状態にある人を、社会が死へと圧力をかけることも考えられる。渡辺一史著『こんな夜更けにバナナかよ』(文春文庫)を読んで考えてみたい。

Topic 02 オーナー政崎英二様に、感謝状を贈呈いたしました。

オープン時から本棚オーナーをして頂いている政崎様が、お仕事の転勤により、水戸市にお引越しされることになり、長野を離れられることになりました。そこで、これまでの政崎さんの弊館へのご尽力に対して、2025年8月2日に、感謝状を贈呈いたしました。文言は、以下の通りです。「あなたは、「まちかど図書館ぼたん」の設立に当たり、本棚作成時からご尽力いただき、また、オーナーとして弊館をご支援、店番・講演者等を率先してご担当頂きました。そのご功労を称え、ここに感謝の意を表します。」。一箱本棚オーナー制度の図書館では、オーナー様にお店番をして頂くことで成り立っているところが多く、弊館でも、そのような展開を期待しております。政崎様は、オーナー様で唯一お店番を担当頂きました。6月には、日本酒をテーマにイベントでお話も頂きました。「二年後には長野に戻ってきます」という嬉しいお言葉を頂きました。政崎様を長野でお待ちしております。お元気でいってらっしゃいませ!



まちかど図書館ぼたんの本棚作成(2024年6月30日)



政崎英二様に感謝状を贈呈(2025年8月2日)

「まちかど図書館ぼたん」は、オーナー様、利用者様のおかげで、9月14日に、いよいよ一周年 を迎えます。築山ゼミ生が図書館の店番をしながら、何とか一周年を迎えることができました。

一周年を記念した、イベントの詳細が決まりましたので、お知らせいたします。みんとしょア ンバサダーの風間さんが来てくださいます!!

期日:2025年9月27日(土)14:00~17:00

場所:長野県立大学後町キャンパス講義室(長野市南長野西後町614-1 下地図)

参加費:無料

※駐車場はございません。近くの民間有料駐車場をご利用ください。

13:30~受付

14:00~14:20 ゼミ生による活動報告

14:25~15:35 風間一毅氏(みんとしょアンバサダー)講演

「一箱本棚オーナー制度図書館の可能性―全国のみんとしょを踏まえてー」

本棚オーナーさん 15:45~16:45 座談会

16:45~17:00 その他





Topic 04

開館時間について

ホームページ

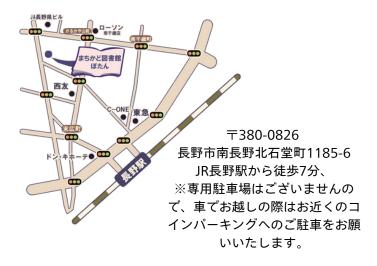




開館時間は10時から18時までですが、ゼミ生と教員が 店番をしている関係で、その時間内で、可能な時間に開館 しております。詳細はホームページまたはInstagramで確 認をお願いいたします。

URL:https://machinakabotan.com/www.machinakab otan.com/

Topic 05 アクセス





2025年8月28日発行

編集:長野県立大学 グローバルマネジメント学部 築山ゼミナール

住所:〒380-8525 長野市三輪8-49-7 B309研究室 Tel: 026-217-2241 (代表) fax: 026-235-0026

E-mail: tsukiyama.hideo@u-nagano.ac.jp

主催:中心市街地活性化協議会